

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位・90時間	開講時期	2年・後期
授業科目名	基礎看護学実習			授業形態	臨地実習
担当教員	武森 勢津子		実務経験	○(看護師)	
授業概要	看護の対象を理解し、看護の基盤となる知識・技術・態度を習得する。また、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。看護過程の思考がわかる。				
学習目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象を総合的に理解する能力を養う 2. 看護を展開するための基礎的能力を養う 				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象理解をするための適切なコミュニケーションを図ることができる。 2. 看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。 3. 到達レベルに基づいて、看護技術が安全安楽に実施できる。 				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象理解をするための適切なコミュニケーションを図ることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象と積極的にコミュニケーションを図る。 2) コミュニケーションから看護に必要な情報収集を行う。 3) 関心をもって対象の話を聴く。 2. 看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) アセスメントを行う。 2) 看護診断を付ける。 3) 計画立案ができる。 3. 対象に応じた援助ができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象の状態に応じた安全・安楽な援助が実施する。 2) 実施前・中・後の対象の状態の観察を行う。 3) 援助後のフィードバックを行う。 4. 看護の評価が理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 指導を受けながら、目標の達成度の評価を行う。 2) 指導を受けながら、評価による目標および計画の変更修正を行う。 5. 到達レベルに基づいて看護技術が安全・安楽に実施できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護技術の到達度に沿って、積極的に看護技術を行う。 2) 対象の状態をアセスメントしながら安全・安楽に看護技術を実施する。 <p>実習期間: 12日間 実習時間: 8:00～15:30 実習展開については実習要項参照</p>				
評価方法	基礎看護学実習の評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から学生・教員(臨地実習指導者所見)で評価を行い総合評価がC以上で合格とする。				
教科書	基礎看護学講座1 基礎看護学概論(医学書院) 系統看護学講座2 基礎看護学2 基礎看護技術 I(医学書院) 系統看護学講座2基礎看護学4 臨床看護総論(医学書院) 看護技術プラクティクス(学研)				
備考					